



平成15年度、スポーツや文化活動で活躍された皆さん

生涯学習の推進と 教育力の向上願い 振興大会で推進誓う

議長は、深渡村長が「家庭や地域の教育力を高めることが必要。学校と地域が一体となり人材育成に取り組みましょう。下道委員長は「家庭、地域、学校が連携して教育のあり方をみんなで探りましょう」とそれぞれあいさつしました。

引き続き実践発表と生涯学習発表が行われ、実践発表では「豊かな心を養う」ことを大きなテーマに普代、鳥茂渡の二実践区が発表。あい

第十二回生涯学習推進大会、第二十七回教育振興大会が二月二十二日、村自然休養村管理センターで行われました。教育関係者や父母ら約百五十人が出席し、生涯学習の推進と家庭・地域の教育力の向上を願い、まずまずの教育環境の充実を誓い合いました。

大会は、村生涯学習推進会議（議長・深渡宏村長）、村教育振興運動推進委員会（下道裕一委員長）などが主催。



地域でのコミュニケーションの大切さを訴えた講師の三浦壮六先生

盛岡教育事務所指導員の三浦壮六さんが「出逢い・ふれあい・学び合い」と題して講演。人間の最大の武器はコミュニケーション。地域の中で連携、連帯がいかに大事か、自ら考え、行動できるように育てていかなければなりません」と人と人のつながりの重要性を力説しました。

大会に先立ち行われた表彰式では、村学校教育などに功績、功労のあった一団団、二個人、全国や県レベル文化・スポーツ大会で活躍した六団体、十八個人を紹介し、表彰しました。活躍した人の紹介は「生涯学習だより」八八号（三月三十一日発行）に掲載されています。

さつ運動や読書活動について、一年間の成果と課題を発表しました。また十五年度に行われた生涯学習事業報告が、教育委員会事務局から行われました。



普代の伝統文化を大切に 保健関係職員等研修会を開催



「地域の伝統や文化を大切にしましょう」と話す立身教授

立身教授の講演を受けて、参加者たちは四つのグループに分かれて、二十一世紀の普代村が目指す健康づくりについて熱心な議論を展開しました。保健推進員の熊谷厚子さん（四〇）は、「自然環境がもたらす命の大切さ、地域との連携の重要性をあらためて感じました」と話していました。

久慈保健所（橋本功所長）主催、普代村共催の地域保健関係職員等研修会が、三月八日、村保健センターで行われました。

約六十人が参加した研修会は「普代らしく、私らしく、健康であるために」地域の文化と伝統を大切にした健康づくりについて考える」のタイトルで行われ、四人がパネリストとして発表しました。

太田名部の赤坂季一さんは、「八十五歳を健康で迎えることができた秘けつを食から考える」、普代村バレーボール協会の森田一会長が「思

いっきり楽しみながらバレーボールで健康づくり」、普代中の坂下郁子養護教諭は「子ども生活習慣の実態調査から地域の健康づくりのヒントを見つめる」、村保健福祉課藤島拓朗課長が「保健医療と介護保険からみた普代村の健康課題について」などについて話題提供しました。

続いて「地域の伝統や文化を大切にした健康づくり」と題して、岩手大学教授の立身政信医学博士が「これまで生きた人生を反省しながら良い方向に調整、良い生活習慣、伝統を見定めて未来にバトンタッチしていかねければならない」と訴えました。